



第48期

# 環境経営レポート



( 2022年4月～2023年3月 )

作成日 2023年6月1日



平賀建設株式会社

# 目 次



## ※ 1 組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）

- (1) 事業者及び代表者名
- (2) 所在地
- (3) 環境管理責任者
- (4) 担当者及び連絡先
- (5) 事業の概要
- (6) 認証・登録の範囲
- (7) 事業規模等
- (8) 産業廃棄物収集運搬業許可等

## ※ 2 環境経営方針

## ※ 3 環境経営目標

## ※ 4 環境経営計画

## ※ 5 実施体制

## ※ 6 環境経営目標の実績・取組結果とその評価

## ※ 7 次年度の取組内容

## ※ 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無

## ※ 9 代表者による全体評価と見直し・指示

## ※ 10 持続可能な開発目標（S D G s）

## ※ 11 地域環境活動（アダプト制度）の実施状況



# 1 組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）

(1) 事業者及び代表者名	平賀建設株式会社 代表取締役 平賀 勝也
(2) 所在地	〒720-2121 広島県福山市神辺町湯野1302番地 〒720-2103 広島県福山市神辺町大字西中条字藤森1460-1 〒720-2103 広島県福山市神辺町大字西中条字藤森1373-1 資材置場 〒720-2121 広島県福山市神辺町湯野字馬崎1242
(3) 環境管理責任者	環境管理責任者 平賀 啓三
(4) 担当者及び連絡先	担当者 川崎 韶 TEL : 084-962-1212 FAX : 084-963-0778 URL : <a href="http://hiraga-kensetsu.co.jp">hiraga-kensetsu.co.jp</a>
(5) 事業の概要	<p>特定建設業許可 広島県知事許可（特一2）第 1527 号 令和3年1月27日から令和8年1月26日まで</p> <p>土木工事業、建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、石工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業、水道施設工事業、解体工事業</p> <p>一般建設業許可 広島県知事許可（般一2）第 1527 号 令和3年1月27日から令和8年1月26日まで</p> <p>造園工事業</p> <p>産業廃棄物収集運搬業許可証 平成31年1月28日から令和6年1月27日まで</p> <p>収集運搬（積替え・保管は含まない）</p> <p>廃プラスチック類、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）陶器くず、鉱さい及びがれき類がれき類（石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）</p>
(6) 認証・登録の範囲	<p>対象範囲</p> <p>土木工事業、建築工事業、舗装工事業、下水道工事業、造園工事業、石工事業、水道施設工事業、鋼構造物工事業</p> <p>対象事業所</p> <p>本社、資材第1倉庫、資材第2倉庫、資材置場</p>



## (7) 事業規模等 <情報公開項目>

法人設立年月日 昭和50年1月1日  
資本金 2,000 万円  
従業員数 14 名（令和5年6月1日現在）  
事業所の延べ床面積 117.95 m<sup>2</sup>  
倉庫・資材置場床面積 資材第1倉庫 896.59 m<sup>2</sup>, 資材第2倉庫 164.4 m<sup>2</sup>  
資材置場 1,504 m<sup>2</sup>

## 2 環境経営方針

### 平賀建設株式会社 環境経営方針

私たちは、地元建設会社として地域の自然と生態系に寄り添った環境経営に土木工事、下水道工事、舗装工事、産業廃棄物収集運搬業の全事業活動を通じて取組みます。また近年多く発生している自然災害の猛威に対して国が推進する国土強靭化対策の担い手として地域のインフラ整備事業において、品質管理、安全管理の向上に精進し、環境負荷の低減、提供する製品及びサービスの環境管理により良い町作りに努めます。

#### 行動指針

1. 課題とチャンスを踏まえて業務改善をします。
2. 以下の項目についての環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
  - (1)電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
  - (2)廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
  - (3)水資源の節水
  - (4)事務用品のグリーン購入
  - (5)環境配慮型重機の利用等の提案や収集運搬車両の燃費向上
  - (6)環境に対しより負荷の少ない建設資材の選定
  - (7)施工する自然環境の生物多様性に考慮した施工方法の提案
3. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
4. アダプト制度に基づく地域清掃などの地域貢献活動を行います。
5. 環境への取組を環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2012年12月1日

改定日：2022年4月1日

代表取締役 平賀勝也

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

### 3 環境経営目標（2022年度～2024年度）

各年度：当該年度4月～翌年3月

環境目標	単位	<基準年度>	目標		
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO2の排出量の削減	kg-CO2	—	—	—	—
電気使用量の削減	kWh	11,711	11,594 △1.0%	11,477 △2.0%	11,360 △3.0%
ガソリン使用量の削減	ℓ	10,854	10,746 △1.0%	10,637 △2.0%	10,528 △3.0%
軽油使用量の削減	ℓ	17,813	17,635 △1.0%	17,457 △2.0%	17,279 △3.0%
灯油使用量の削減	ℓ	3,659	3,622 △1.0%	3,586 △2.0%	3,549 △3.0%
産業廃棄物排出量	t	384.5	95.0%	95.0%	95.0%
〃 再資源化率	%	90.0%	以上	以上	以上
一般廃棄物排出量の削減	kg	3,610	3,574 △1.0%	3,538 △2.0%	3,502 △3.0%
水使用量の削減	m³	16.0	15.8 △1.0%	15.7 △2.0%	15.5 △3.0%
環境配慮型重機の利用等の提案	年／件	1件	1件	1件	1件
環境保全取組実施の向上	ボランティア活動 (アダプト活動)	回	年3回	年3回	年3回
	社員への環境教育訓練	回	年1回	年1回	年1回

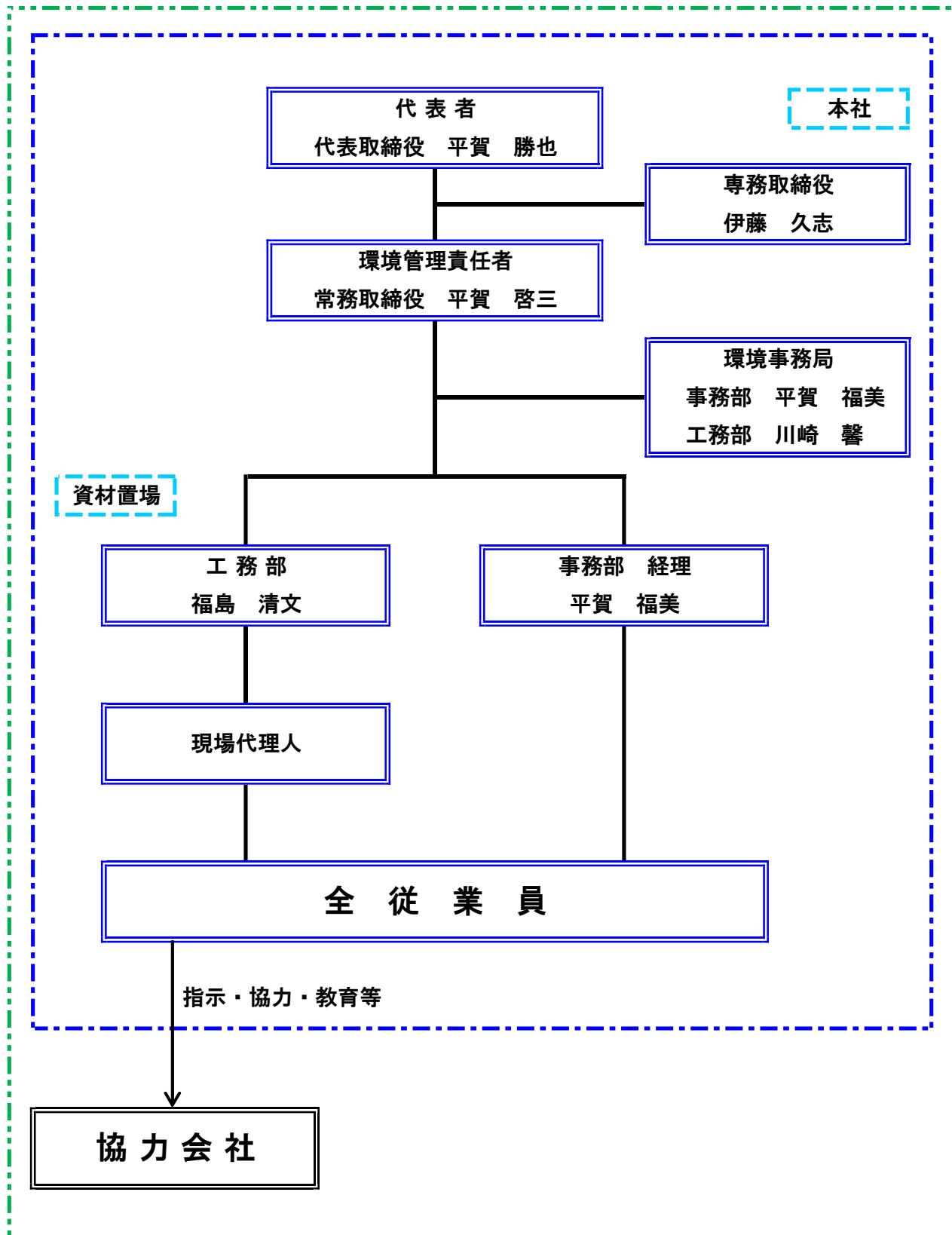
## 4 環境経営計画

環境目標取組項目		環境経営計画の内容	責任者
二酸化炭素の削減	電力の二酸化炭素排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気設備の空運転の撲滅</li> <li>・冷暖房の省エネ対策（冷房28°C、暖房21°C）</li> <li>・ドアの開け放しの防止</li> <li>・帰宅時、外出時の不要な電源はオフにする</li> </ul>	全従業員
	自動車・建設重機の燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップ&amp;冷暖房の省エネ運転</li> <li>・急発進、急加速、急停車の抑制（エコドライブ10）</li> <li>・年次点検及び定期点検等の実施</li> <li>・効率的な移動コース等の事前検討</li> <li>・過積載防止の徹底</li> </ul>	現場作業員
廃棄物の削減	一般廃棄物の排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別ボックスの設置(再資源化率の向上)</li> <li>・使用済ファイル、封筒、コピー用紙等の再利用</li> <li>・電子データの共有化取組み促進</li> </ul>	全従業員
	産業廃棄物のリサイクル率維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別解体の徹底による循環再生資源化</li> <li>・発生端材等の再活用による廃棄量の減少</li> <li>・マニフェスト票管理による法令順守</li> </ul>	現場代理人
省資源	水の使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水の周知（節水シール/ポスター掲示）</li> <li>・清掃/手洗い時の節水取組み</li> <li>・漏水防止の為の水量チェック</li> </ul>	全従業員
自ら提供する環境配慮	環境配慮型重機の利用等の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ活動の事例情報収集</li> <li>・顧客ニーズの把握（環境配慮/長寿命配慮設計）</li> </ul>	現場代理人
	収集運搬車両の燃費向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブ（運転方法の配慮（急発進・急加速・空ぶかしの禁止、アイドリングストップ）を励行）</li> </ul>	現場作業員
工事環境施工に・配地慮域し貢献	工事施工の効率化向上 (無事故、無災害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業時間短縮化の推進</li> <li>・KY活動、教育訓練、安全パトロールの実施</li> <li>・安全点検の実施</li> </ul>	現場代理人
	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民とのこまめな連携、工事内容の広報活動</li> <li>・工事工程の短縮化推進</li> </ul>	現場代理人
	ボランティア活動（アダプト活動）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイロード活動実施（3回/年）</li> <li>・町内清掃活動への参加</li> </ul>	全従業員

※ 化学物質は使用していません。

## 5 実施体制

EA21組織図及び役割・責任・権限表



担当者	役割・責任・権限
代表者 (社長)	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表の承認 環境目標・環境活動計画の確認 環境経営の取組結果を代表者へ報告 環境経営活動レポートの確認 従業員に対する教育訓練の実施（現場以外）
環境事務局	環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標の実績集計 環境関連法規等の取りまとめ表の作成 環境関連法規等の取りまとめに基づく遵守評価の実施 環境関連における外部コミュニケーション窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務局への送付及びHP掲載）
部門長	自部門における環境方針の周知 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
現場代理人	建設現場における環境経営システムの実施 建設現場における環境方針の周知 建設現場の作業員に対する教育訓練の実施 建設現場に関連する環境活動計画の実施 特定された項目の手順書作成及び運用管理 建設現場の緊急事態への対応のためのフロー作成、訓練の実施 建設現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加 協力業者への教育及び環境への取組を要請
協力会社	環境方針の理解と取組への積極的参加 建設現場での環境目標の遵守

## 6 環境経営目標の実績・取組結果とその評価

環境目標	単位	<基準年度>	2022年度 実績			
		2021年度	目標	実績	対目標比(%)	達成区分
CO2の排出量の削減	kg-CO2	—	—	113,685	—	—
電気使用量の削減	kWh	12,469	11,594 △1.0%	11,711	101%	△
ガソリン使用量の削減	ℓ	10,854	10,746 △1.0%	8,506	79%	○
軽油使用量の削減	ℓ	17,813	17,635 △1.0%	27,949	158%	×
灯油使用量の削減	ℓ	3,659	3,622 △1.0%	6,323	175%	×
産業廃棄物排出量 〃 再資源化率	t %	384.5 90.0%	380.7 95.0%以上	1,411 100%	371%	×
一般廃棄物排出量の削減	kg	3,610	3,574 △1.0%	3,720	104%	△
水使用量の削減 ※ <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	16.0	15.8 △1.0%	13.0	82%	○
環境配慮型重機の利用等の提案	年／件	1件	1件	1件	100%	○
環境保全取組実施の向上	ボランティア活動 (アダプト活動)	回	年3回	年3回	年3回	○
	社員への環境教育訓練	回	年1回	年1回	年1回	○

1. 電気のCO<sub>2</sub>排出係数は、中国電力2022年度の調整後排出係数0.521kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いて算出しています。
  2. 地下水も使用しています。（測定不可）
  3. 達成区分 ○：100%以下、△：110%以下、×：111%以上

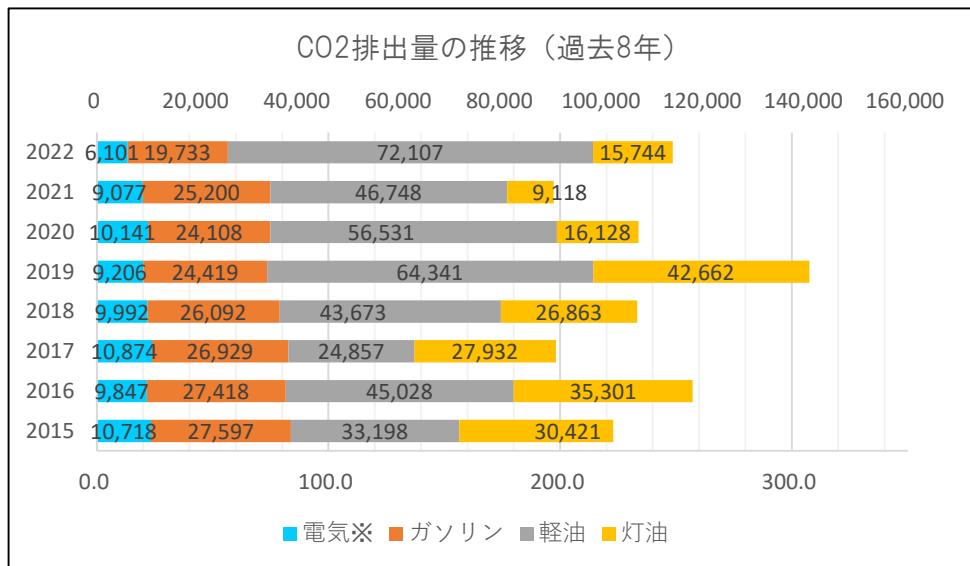
## (1) 環境経営目標の実績

目標に対する実績（2022年4月～2023年3月）と、具体的な環境経営取組の結果と評価は次の通りです。

### CO2の総排出量の削減 2022年目標 目標：基準年（2021年度） 1%削減

※活動内容及び取組結果、評価については、『ガソリン、軽油、灯油の使用量の削減』を参照

CO2 (kg-CO2)	実績値
	113,685



●二酸化炭素排出量は、目標を上回る結果となった。要因を分析したところ、売上高は前年とほぼ変わっていないが、重機等の燃料使用量については、工事内容の変更により重機の使用台数が増加したため、それに比例して増加することとなった。又、電気については、夏場の省エネ対策としてエアコンの温度管理を行っているが、近年の熱中症発生数の増加に伴い、エアコン温度を下げる傾向が増えたためと考えられる。環境配慮型重機への移行を順次進めているので、各現場での対策を考えて目標値に近づけるようにする。



足場の悪い河川内作業



複数重機による併用作業

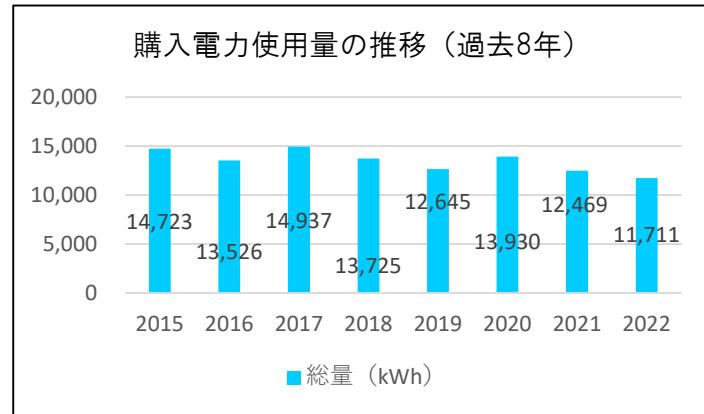
## 購入電力使用量の削減 2022年目標 目標：基準年（2021年度） 1%削減

活動内容及び取組結果	取組評価
1.空調温度のエコ設定	△
2.就業時以外（休憩時）の消灯の励行	○
3.パソコンの省エネ設定	○

電 力 (kWh)	目標値	実績値	対目標比
11,594	11,711	101%	△



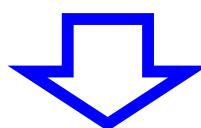
●年間数値目標についてはやや達成出来なかつた。エアコンを省エネ対策型に取替えたが、夏場の気温の高さにより使用時の設定温度を下げたことも要因と思われる。



## エコ活動～購入電力編～



新型エコタイプ  
エアコン取替!



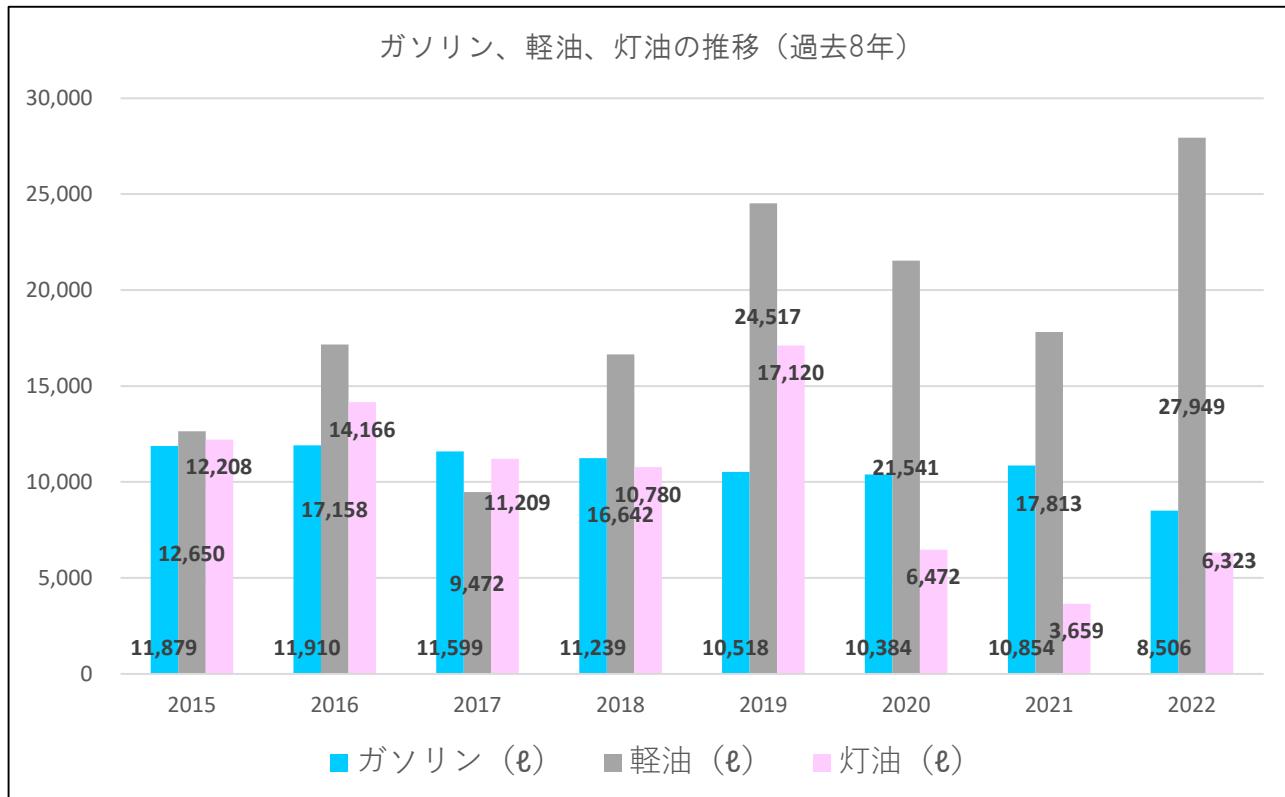
新型に取替え



ガソリン、軽油、灯油の使用量の削減 2022年目標 目標：基準年（2021年度） 1%削減

活動内容及び取組結果	取組評価
1.工事車両のアイドリングストップの励行	○
2.工事車両のエコドライブ推進	○
3.建設機械のスロットルの出力制限	○
4.自動車・建設重機の低燃費車への更新	○
5.ダンプトラックの過積載防止	○

	目標値	実績値	対目標比	
ガソリン	10,746	8,505.61	79%	○
軽油	17,635	27,948.61	158%	×
灯油	3,622	6,323	175%	×



●基準年度を変更しそれぞれの目標値の見直しを行った結果、ガソリンについては達成することが出来ていたが、軽油・灯油については、それぞれ目標値を大幅に上回り達成出来なかった。要因は、現場作業時に使用する重機等の燃料の使用量が増加したためである。環境配慮型重機への買替えは進んでいるので、各現場ごとに重機使用方法等を再考し、エコ活動への工夫が必要と思われる。

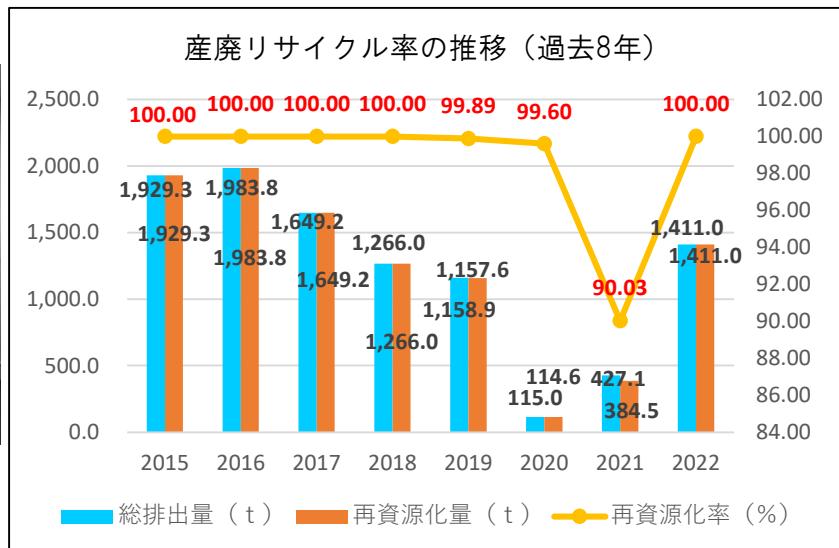
## 産業廃棄物リサイクル率 95% 以上維持

活動内容及び取組結果	取組評価
1.計画的な資材購入による残材削減	○
2.産業廃棄物の分別徹底	○
3.産業廃棄物マニフェストの適正な交付	○
4..再資源化の推進（再生材の利用等）	○

産業廃棄物	目標値	実績値	対目標比	
	リサイクル率	95.00% 以上	100.00%	105%
数量 (t)	380.7	1,410.79	371%	×



産業廃棄物収集運搬車



●産業廃棄物排出量については、受注工事により再資源化を指示されているため、削減するのが困難なため数量のみの把握とする。

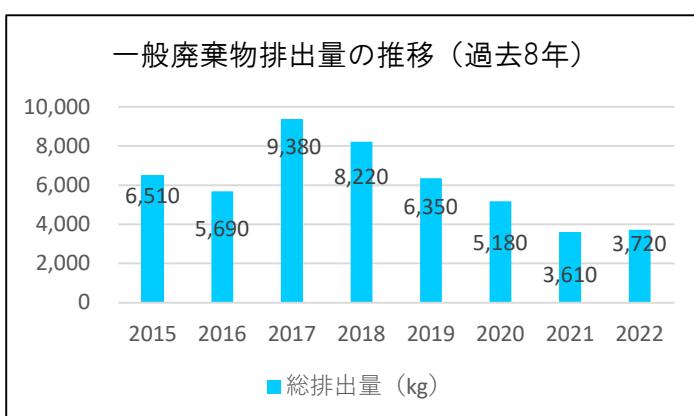
## 一般廃棄物排出量の削減 2022年目標 目標：基準年（2021年度） 1%削減

活動内容及び取組結果	取組評価
1.ミスプリントの削減	○
2.用済み書類の裏紙の利用	○
3.分別リサイクルの徹底	○

一般廃棄物 (kg)	目標値	実績値	対目標比	
3574	3574	3720	104%	△



●一般廃棄物については、分別・再利用を継続して行った結果、目標値をやや達成する事が出来なかったが、さらなる分別・再利用の徹底に取組むことにより達成可能である。



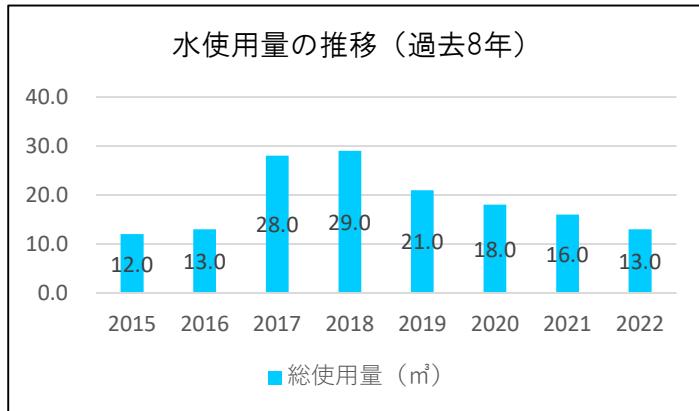
## 水資源使用量の削減 2022年目標 目標：基準年（2021年度） 1%削減

活動内容及び取組結果	取組評価
1.節水運動（節水表示）	○
2.節水器具の使用による水量の抑制	○

水資源 (m <sup>3</sup> )	目標値	実績値	対目標比
	15.8	13.0	82% ○



●目標値達成については、年間を通して使用量が少なく、対目標値0.81%と高水準で達成出来ている。新型コロナの影響でうがい・手洗い等の予防対策が増えたが、節水を心掛けている為使用量の削減は継続できたものと考えられる。



## 工コ活動～節水編～



## 化学物質の使用状況調査、SDS入手、適正管理

活動内容及び取組結果	取組評価
1.化学物質の使用状況の調査	○
2.SDSの入手と化学物質の適正な管理	○

化学物質	管理目標	管理実績	結果
	適正管理	適正に実施	○

●対象期間中に受注した工事、道路改良工事、舗装工事、下水道工事での使用材料には、PRTR法対象物質は含まれていなかった。引き続き使用する材料に、PRTR法対象物質が含まれていた場合にはSDSを入手し、専用ファイルの作成により社員全員が閲覧出来るよう努める。

## 環境配慮型重機の利用等の提案

活動内容及び取組結果	取組評価
1.環境配慮型重機の利用等を提案する	○

環境配慮型 重機の提案	目標値	実績値	対目標比	
	1 件数	1 件数	100.00%	○

- 環境配慮型重機の利用等提案について、現場で使用する建設機械のリース及び買い替え等により、年間目標件数を達成することが出来た。（今年度、重機1台を環境配慮型重機に買い替えた）次年度も積極的に環境配慮型重機の利用を推進するよう取組みを行うこと。

# 工廠活動 ~ 環境配慮型重機編 ~



## 7 次年度の取組内容

次年度の環境経営活動計画の取組内容は次の通りです。

2023年度 環境経営活動取組内容			
環境方針	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段
二酸化炭素の削減	電力、自動車・建設重機の使用燃料削減による二酸化炭素の削減	2021年比2.0%削減	1.購入電力の削減 2.自動車、建設重機の燃料使用量削減
	購入電力の削減	2021年比2.0%削減	1.電気設備の空運転の撲滅 2.冷暖房の省エネ対策（冷房28°C、暖房21°C） 3.ドアの開け放しの防止 4.帰宅時、外出時の不要な電源はオフにする
	自動車・建設重機の燃料使用量削減	2021年比2.0%削減	1.アイドリングストップ＆冷暖房の省エネ運転 2.急発進、急加速、急停車の抑制（エコドライブ10） 3.年次点検及び定期点検等の実施 4.効率的な移動コース等の事前検討 5.過積載防止の徹底
廃棄物の削減	一般廃棄物の排出量の削減	2021年比2.0%削減	1.分別ボックスの設置(再資源化率の向上) 2.使用済ファイル、封筒、コピー用紙等の再利用 3.電子データの共有化取組み促進
	産業廃棄物のリサイクル率維持	95.0%以上維持	1.分別解体の徹底による循環再生資源化 2.発生端材等の再活用による廃棄量の減少 3.マニフェスト票管理による法令順守
省資源	水の使用量削減	2021年比2.0%削減	1.節水の周知（節水シール/ポスター掲示） 2.清掃/手洗い時の節水取組み 3.漏水防止の為の水量チェック
自ら提供するサービスの環境配慮	環境配慮型重機の利用等の提案	情報収集 利用等の提案	1.省エネ活動の事例情報収集 2.顧客ニーズの把握（環境配慮/長寿命配慮設計）
環境保全取組実施の向上	ボランティア活動	年3回	1.アダプト活動実施 2.町内清掃活動への参加
	環境教育訓練	年1回	1.現場内環境安全教育の開催

## 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### ＜主要な環境関連法規＞

適用法規等	法規・規制内容	実施内容	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬許可の申請	産業廃棄物収集運搬許可更新（5年）	遵守
	廃棄物の適正処理（収集運搬、処理業者への委託）	委託契約書の作成	遵守
	産業廃棄物管理票の交付と期間内処理の確認	マニフェスト管理と保管（5年）	遵守
	管理票交付状況の県への年度報告	管理票交付状況報告書（毎年6月）	遵守
	処理業講習会修了証	講習会の修了（5年毎）	遵守
	産業廃棄物収集運搬車両への表示と書面の備付け及び紙マニフェストの所持	産業廃棄物運搬車両への表示、許可証及び紙マニフェストの所持	遵守
	車両の構造上の安全（車両の大きさ、重量、安定性等）	車検（1年）により車検証にて把握	遵守
自動車三法	道路の保全（車両の大きさ、重量等）	一般的制限値の把握	遵守
	人と車の安全（乗車人員・積載物の重量・積載方法、使用者の義務、安全運転管理者）	安全運転管理者講習受講	遵守
	車両の構造上の安全（車両の大きさ、重量、安定性等）	車検（1年）により車検証にて把握	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者への適正な引渡し	社用車のリサイクル料を預託（購入時）	遵守
建設リサイクル法	対象工事の分別解体等の計画の届出	対象工事の分別計画等の届出	遵守
	再資源化等実施義務	再資源化等実施・完了報告	遵守
プラスチック循環促進法	プラスチックの排出の抑制・再資源化	教育・周知	遵守
騒音規制法	特定建設作業実施届出書の届出	杭打機、さく岩機等作業届（都度）	遵守
	規制基準の遵守義務	規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業実施届出書の届出	杭打機等作業届（都度）	遵守
	規制基準の遵守義務	規制基準の遵守	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコン冷凍冷蔵機器の適正設置及び機器点検、機器廃棄時のフロン類回収の徹底	機器の点検 簡易点検（3月に1回以上）	遵守
	建設機械等のエアコン付大型・小型特殊自動車の機械点検	建設機械（キャビン付）の点検 簡易点検（3月に1回以上）	遵守

環境関連法規制等（廃棄物処理法、自動車3法、建設リサイクル法、騒音規制法、振動規制法等）の遵守を確認した結果、当社では違反はありませんでした。

また、関係機関からの指摘、外部等からの訴訟もありませんでした。

2023年4月3日



## 9 代表者による全体の評価と見直し・指示

2022年4月から2023年3月にかけて、環境活動に取組んだ結果、電力・自動車・建設重機の使用燃料の削減による二酸化炭素の削減については目標を新たな基準を設け取組んできたが、自動車・建設重機の燃料使用量削減を含め目標が未達成でした。これについては、所有機械を環境配慮型重機への買い替えに伴い、機械の使用燃料の種類が変わった事により、使用量に違いが生じている事も要因と考えている。しかし、数値としては現実的な数字がとなっているので、さらなる環境活動を取組む事により目標達成可能となると思われる。また、2024年4月からは新卒採用者2名、5月から外国人実習生2名の4名を雇用した。彼らを含め建設従事者に対して、環境への配慮と意識向上を促進する為の教育プログラムを導入する事が大切と考え、環境対策をテーマとしたCPDS講習会への参加を予定している。省エネ型建設機械・ハイブリット車両・電気自動車等クリーンエネルギーなど環境への投資も予定している。

平賀建設株式会社

代表取締役 平賀勝也

## 10 持続可能な開発目標（SDGs）

## SDGsと当社の活動内容との紐付け

SDGsとは、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goalsの略）で、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。17項目のゴールとそれらの目標を達成するための具体的な169のターゲットから構成され、地球上の「誰ひとり取り残さない」ことを誓っています。17の目標とは、世界中の人々が平等かつ安全に生きる事のできる社会を作るための目標で、17項目それぞれが現在の世界が抱える包括的な課題となっている。17項目には、『社会』『経済』『環境』の3分野と各分野と関わる『枠組み』に分けられており、先進国が率先して取り組まなければならない課題を含み、すべての国に適用される普遍的な目標となっています。平賀建設㈱では、創業当初より公共インフラの整備を担い、地域社会の発展、地域に根付く建設業者としての業務は、社会貢献の要素を多分に含んでいると考えて活動しています。当社の掲げている品質方針・環境方針は、SDGsの概念と一致するものがあり、今後も継続して企業方針の達成を目指していきたいと考えます。

## ～ 私達のSDGs～

<p><b>3</b> すべての人に 健康と福祉を</p> 	<p>環境汚染を減少させる為、工事で使用する化学物質の安全性に関する情報伝達のため、MSDS（化学物質安全データシート）により管理している。</p>	<p><b>4</b> 質の高い教育を みんなに</p> 	<p>従業員教育として、専門教育講習会参加や資格取得の為の支援等、個々の能力向上を目指す活動を行っている。</p>
<p><b>5</b> ジェンダー平等を 実現しよう</p> 	<p>女性活躍推進を掲げ、専門教育等能力強化を促進する。</p>	<p><b>6</b> 安全な水とトイレ を世界中に</p> 	<p>日常的な節水を行い、水道使用量の削減に取り組んでいる。又、より水道量削減の為、従来の水洗トイレや手洗い場を新たな節水型のものに取替えた。</p>
<p><b>7</b> エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> 	<p>事務所等の照明について、不要時は消灯し削減を進めている。電気使用量は、毎年目標削減率（%）決め消費エネルギー量の削減を行っている。</p>	<p><b>8</b> 働きがいも 経済成長も</p> 	<p>従業員の労働環境を保全する為、季節や気候に合わせた対策（各作業場での休憩室の設置や冷暖房の完備等）を行い、働きやすい環境を整えている。</p>
<p><b>11</b> 住み続けられる まちづくりを</p> 	<p>廃棄物の発生を抑制する為、再使用またはリサイクルし易い製品を使用している。又、紙・缶・ペットボトル等の分別を行い、専用回収場へ適正に持込みを行っている。</p>	<p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p> 	<p>産業廃棄物最終処分量、発生量削減の為、リサイクル率（%）定めて取り組んでいる。又、建設機械を低排出ガス対策型等への切り替えを順次行っている。</p>
<p><b>13</b> 気候変動に 具体的な対策を</p> 	<p>気候変動への具体的な対策として、CO<sub>2</sub>削減を掲げ、使用する建設機械等をエコ化へ切替えを推進している。</p>	<p><b>16</b> 平和と公正を すべての人に</p> 	<p>地域の防犯活動の一環として、『子ども110番』の活動を行っている。全従業員に周知徹底し、子ども達が駆け込みやすい環境を整えている。</p>

## 11 地域環境活動（アダプト制度）の実施状況

アダプト活動は、対象区間の清掃美化活動等を行い、常に当該道路を清潔で良好な状態にしておくよう努める活動である。

### [活動実績報告（2022年度）]

活動年月日	活動箇所	延長	活動内容	参加人数
2022年 5月21日	県道 下御領新市線 栄橋（西）～小山池（東）	L=300m	草刈・除根作業	6人
2022年 9月1日	県道 下御領新市線 栄橋（西）～小山池（東）	L=300m	草刈・除根作業	6人
2023年 1月14日	県道 下御領新市線 栄橋（西）～小山池（東）	L=300m	草刈・除根作業	6人

### アダプト活動の状況（マイ・ロード清掃ボランティア）



### マイ・ロード清掃ボランティア

